

令和2年度 あいさんテラス事業報告

【事業所理念】

テラスに関わる全ての人が毎日幸せだと感じられる為に物心両面での環境を整える

【重点目標】

- 1、職員の資質の向上
- 2、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止
- 3、リスクマネジメントの強化
- 4、退所児童へのアフターケアの充実

【運営計画】

1、職員の資質の向上

- ① 発達障がいや精神疾患のある子どもの特徴を学ぶ
 - ・外部の発達障がいの専門講師を招請しての施設内研修については、新型コロナウイルス蔓延防止対策を図る観点から中止。又、職員の外部研修は12名参加（内8名はオンラインでの参加）。
- ② 組織力の向上
 - ・組織の再編を行い、役割分担と責任の所在を明確化。
 - ・担当制による支援を行い、担当職員との関わりを多く持てる取り組みをすることで、子どもとの信頼関係を築き、愛着形成がされるような支援に繋げた。
- ③ 自立支援計画書の充実
 - ・6か月に1度、実施状況の振り返り・評価・見直しを行う。支援の成果については分析・検証をしっかりと行うことで、将来的な見通しや、成長発達に応じた支援のポイントを共有。
- ④ 第三者評価受審結果を職員全員で共有し、自施設の弱みと強みを確認した。

2、子どもの権利擁護と被措置児童等虐待の防止

- ① 安全委員会方式の継続
 - ・安全委員会方式の導入から5年目を迎える。職員の入れ替わりもあり、改めてこの5年間に起きた過去の事例を把握する機会を職員会議の中で確認した。又、施設内の「魔法の言葉推進委員会」を中心に「聞き取り調査対応」についてのロールプレーの実演を1回実施。
- ② マニュアルの読み合わせ
 - ・被措置児童等虐待防止マニュアル（県作成）の読み合わせを毎月1回実施。職員の意識統一を図り、日常業務を振り返る機会とした。

③ 人権擁護の自己点検

- ・「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検を年に2回実施。結果から見える職員の不安等を検証して改善に繋げた。

④ 「性教育」の研修

- ・ あいち CAP プラスによる子ども対象の「性教育・人権擁護」の研修は、新型コロナウイルス蔓延防止対策を図る観点から中止。
又、職員対象の研修として、職員が「性」について正しい知識を持つことで、人権擁護と愛着形成につながることを知るための「性教育」の施設内研修を1回実施。

3、リスクマネジメントの強化

① 事件・事故対応

- ・ 昼間・夜間の不審者対応マニュアルに基づき、事件・事故を想定した訓練を外部に依頼しての予定は、新型コロナウイルス蔓延防止対策を図る観点から中止。
- ・ 不審者対応マニュアルの内容の見直しを行い、周知・共有を図った。
- ・ 小さなヒヤリ・ハットも全て情報共有システムに上げることで、リスク低減に繋げた。

② 防災対策

- ・ リスクマネジメント委員会中心に、建物設備の点検チェック表を作成し、月に1度、点検する仕組みを構築した。
- ・ グループホームの防災マニュアルを整備した。
- ・ 防災備蓄品の仕分けを行い、種類ごとに備蓄場所を決め整備した。

③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染予防、及び蔓延防止対策の徹底

- ・ 予防、蔓延防止の手法が職員間で統一されるように、ユニット会議において感染症マニュアルの読み合わせを月に1回実施。
- ・ 感染事故を想定したマニュアルを各ユニットに配布し、周知・徹底を図った。

④ 「個人情報・守秘義務」研修

- ・ 人権擁護委員会によるマニュアルの説明、事例検討（グループワーク）を1回実施。

⑤ 子どもたちの安心・安全な生活環境を整える

- ・ 3か所目の小規模ユニットを開設するにあたり、新設の玄関の施錠確認や帰設後の手洗いやアルコール消毒・換気等のルールの再設定及び、支援方法についての見直しを図った。

4、退所児童へのアフターケアの充実

① 退所児童 OB 会の開催

- ・ 新型コロナウイルス蔓延防止対策を図る観点から中止。

② 退所後の安否・状況確認

- ・ 訪問 12 件。